



2017年6月12日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 助野 健児
 (コ ー ド 番 号 : 4 9 0 1 東 証 第 一 部)
 問 合 せ 先 経営企画部
 コーポレートコミュニケーション室長
 吉澤 ちさと
 (TEL : 03-6271-1111)

2017年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2017年1月31日に公表した2017年3月期(2016年4月1日~2017年3月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2017年3月期 通期連結業績予想値の修正(2016年4月1日~2017年3月31日)

〈米国基準〉

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想(A) (2017年1月31日発表)	百万円 2,400,000	百万円 192,000	百万円 192,000	百万円 112,000	円 銭 252.51
今回修正予想(B)	2,322,163	172,281	194,775	131,506	296.27
増減額(B-A)	△77,837	△19,719	2,775	19,506	43.76
増減率(%)	△3.2	△10.3	1.4	17.4	17.3

2. 修正の理由

光学・電子映像事業の電子映像分野などで売上を伸ばしたものの、ヘルスケア事業やドキュメント事業の売上減少などにより、売上高、営業利益が減少しました。一方、政策保有株式の構成の見直しを行った結果、営業外収益及び費用で投資有価証券売却益を計上したことなどにより、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1株当たり当社株主帰属当期純利益は増加し、当社株主帰属当期純利益は過去最高益となりました。

なお、「当社連結子会社に関する不適切な会計処理による影響額に関するお知らせ」として本日別途開示しました、富士ゼロックス株式会社の海外販売子会社の会計処理問題に関わる、2017年3月期の通期連結業績における金額影響は軽微です。

また、この結果、2017年3月期のROEは、6.5%となりました。

注) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の実績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

注) 「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では2016年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を、今回修正予想では2017年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)をそれぞれ使用しております。

以 上